



1 野原はうたう

- (1) 例花が開くこと。(7字)
- (2) ア
- (3) わし・である
- (4) ことり・あたたかい・いつまでも

2 花曇りの向い

- (1) うまくつながらない
- (2) 例友達をうまく作ることができず、どんよりとした気持ち。(26字)
- (3) ア
- (4) 例友達を作る

3 ダイコンは大きな根?

- (1) 1 カイワレダイコン
- 2 胚軸・主根
- (2) エ
- (3) 例細胞の破壊で、蓄えた辛み成分に化学反応が起こり、辛みが発揮される仕組みだから。(39字)

4 ちよつと立ち止まって

- (1) 中心に見るもの
  - (2) 富士山(3字)・ビル(2字)
  - (3) エ
  - (4) 若い女性のくつこない。
  - (5) 例中心に見るものを変えたり、見るときの距離を変えたりすること。(30字)
- 〔順不同〕

5 詩の世界

- (1) 鳥・空・海
- (2) 例鳥が魚をつかまえたとき。(12字)
- (3) 別解鳥が海に飛びこんだとき。(12字)
- (4) イ
- (5) 例魚が鳥に食べられること。(12字)

6 空を見上げて

- (1) 1 例世界中の人の心に伝わった
- 2 希望
- (2) 1 女川の中学くむいだ言葉
- 2 重ねた

7 光る地平線

- (1) エ
- (2) 体をくるんくとされた。
- (3) 1 例自分をなぐさめてくれる言葉。
- 2 例むなしさ

8 星の花が降るころに

- (1) 1 銀木犀の花
- 2 エ
- (2) 例夏実の姿を目にしたとたん、いきなりきんちょうが高まった様子。(30字)
- (3) 例夏実に無視された(8字)

9 大人になれなかった弟たちに……

- (1) ウ
- (2) 例みとられて死んで・例たえられない
- (3) 大きくなっていた
- (4) 戦争・例平和

10 シカの「落ち穂拾い」  
「フィールドノート」の記録から

- (1) 一頭から二十一頭
- (2) 例春は、シカの本来の食物が不足しているという仮説。
- (3) 栄養価が高い(点。)
- (4) ア

11 音読を楽しもう いろは歌

- (1) 花
- (2) 有為
- (3) A 例常に一定ではない(8字)
- B 例惑わされない(6字)
- (4) ウ

12 月に思う

- (1) さまざまな
- (2) 1 明るくくつすがすがしさ
- 2 例雲の切れ間から月の光がすつと漏れた瞬間。
- (3) イ



どきどきするほど  
ひかっているぜ

おう あついぜ

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまを ふりかざす すがた

① わくわくするほど

きまつてるぜ

第二連

あきのひ のぎく みちこ

かぜが

② とおりすぎました

わたしは はなびらを

ゆすりました

だれかに よばれたきがして

ふりかえると

ゆうひが くるくると

しずむところでした

〈工藤直子「野原はうたう」より〉

ア 静かに喜びをかみしめている様子。

イ 自分の姿に自分でみほれている様子。

ウ 自信がないことをごまかしている様子。

エ さびしさをこらえて強がっている様子。

(6) 「おれはかまきり」は何を描いた詩ですか。次の文の□に当てはまる言葉を書き、詩の中からそれぞれ抜き出しなさい。

あつい □ に、□ ような太陽の光を浴びて、

□ に活動するかまきりの姿。

(7) 線②「わたし」とありますが、だれのことですか。名前を書きなさい。

□

(8) よく出る 次の文は、「あきのひ」の詩について述べたもので、□には、詩の中の二行が当てはまります。その二行を、詩の中から抜き出しなさい。  
野菊が風に吹かれて後ろを向く様子を、□と表現している。

□

(9) 「あきのひ」の詩で、野菊の背景には、何がどうなる様子が描かれていますか。簡潔に書きなさい。

□

(10) 上の三つの詩に描かれていない季節を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

□

# 仕上げの問題

得点

100

■■■ 次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

おれはかまきり かまきり りゆうじ

おう なつだけ

おれは げんきだけ

あまり ちかよるな

おれの ころも かまも

どきどきするほど

ひかっているぜ

おう あついで

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまを ふりかざす すがた

わくわくするほど

きまつてるぜ

いのち けやき だいさく

わしの しんぞうは

たくさんの

ことりたちである

ふところに だいて

とても あたたかいのである

だから わしは

いつまでも

いきていくのである

だから わしは

いつまでも

いきていて よいのである

〔工藤直子「野原はうたう」より〕

(1) 「おれはかまきり」の詩について、次の文の□に当てはまる言葉を、詩の中からそれぞれ抜き出しなさい。  
(10点×3＝30点)

「□」と、威勢よく始め、自分を「□」と呼び、文末

の多くに「□」を使って、若者らしさ・男っぽさを表現している。

(2) 「おれはかまきり」の詩はどのように朗読するとよいですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
(20点)

ア はきはきと力強く読む。 イ 小さな声で寂しそくに読む。

ウ 怒ったように速く読む。 エ ゆったりと優しい感じで読む。

(3) 線①「ふところに だいて」とありますが、これは、けやきが何をしている様子を表していますか。二十字以内で書きなさい。  
(30点)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(4) 線②「だから わしは／いつまでも／いきていて よいのである」には、どういった気持ちか込められていると考えられますか。次の文の□に当てはまる言葉を考えて書きなさい。  
(20点)

誰かの役に立っていることに、  
□ 気持ち。

### 1 野原はうたう

4～5ページ

#### 作者・作品の確認問題

- 1 工藤直子
- 2 ①動植物Ⅱけやき 季節Ⅱ冬 ②動植物Ⅱたんぽぽ 季節Ⅱ春  
③動植物Ⅱのぎく (野菊) 季節Ⅱ秋 ④動植物Ⅱかまきり 季節Ⅱ夏

#### 知識の確認問題

- 1 ①自由詩 ②定型詩 ③ ①ウ ②イ
- 2 ①ウ ②イ
- 3 ①ウ ②エ ③イ ④オ

6～7ページ

#### 必修問題

- (1) たんぽぽわたげ・はなひらく
- (2) 1 エ 2 とんでいこう
- (3) 例 新たな世界での出会いに期待する気持ち。(19字)  
別解 新しい出会いがある未来に期待する気持ち。(20字)  
別解 これから起こるさまざまなことに期待する気持ち。(23字)
- (4) ウ (5) イ (6) なつ・もえる・げんき
- (7) のぎく みちこ (8) だれかに よばれたきがして／ふりかえると
- (9) 例 ゆうひがしずむ様子。 (10) エ

#### 解説

(1) 第一連では、1～2行目と3～4行目が同じような形式で並べられ、5～6行目の「たんぽぽわたげが／まいあがります」に続いている。夢見ているのは「はなひらく」こと。

(2) 1・2 第二連の初めに「とんでいこう どこまでも」という、意志を示す表現があることに着目する。通常の語順なら「どこまでも とんでいこう」となるところを、倒置を使って「とんでいこう」という決意を印象づけている。また、「とんでいこう」は、8～10行目とも倒置の関係にあり、より強調されていることを押さえる。

(3) (1)で捉えたことや、「たんぽぽわたげ」がまいあがり、「あした／たくさんのかんにちは」に／であうために「どこまでもとんでいこう」としていることから考える。記述ポイント⑦：「新しい」未来の「新たな世界」これから①「出会い」起こること、以上の二点を「……期待する気持ち。」とまとめる。

(4) 第一・二連とも、かまきりの視点から、かまきりの気持ちになって表現している。ア・イは不適切。第一・二連とも、「おう ……ぜ」という呼びかけで始まり、「おれは ……ぜ」と続き、最後は「……ほど／……てるぜ」という形になっていて、第一連と第二連の各行の表現がほとんど対応している。

(5) 「かまきり りゆうじ」は、夏になってエネルギーがみなぎり、堂々と自分を主張している。「かまを ふりかぎす」自分の姿を、心から「きまつてる」と思っているのである。

(6) 第一連：「おう なつだぜ／おれは げんきだぜ」  
設問文：「あつい」「なつ」 設問文：「げんき」に活動するかまきりの姿

第二連：「もえる」ひをあびて

設問文「もえる」ような太陽の光を浴びて

(7) 「詩人」の名前が、題名の下にあることに注目する。

(8) 6行目に「ふりかえる」という言葉があることに注目する。風に吹かれて花が後ろを向く様子を、「のぎく みちこ」が「だれかに よばれたきがして」ふりかえたのだと表現している。

(9) 最後の三行に着目する。「のぎく みちこ」が「ふりかえると」そこには、「ゆうひが くるくると／しずむ」光景があったのである。

(10) 「あしたこそ」は、たんぽぽの綿毛がまいあがる春。「おれはかまきり」は、

詩の中に「なつ」「あつい」「もえる ひ」とあるので、夏。「あきのひ」は、その題名のとおり、秋である。したがって、エ「冬」を選ぶ。

8 ページ

仕上げの問題

- (1) おう・おれ・ぜ (2) ア  
 (3) 例 ことりたちを枝にとまらせている様子。(18字)  
 例 安心する 別解 ほっとする

解説

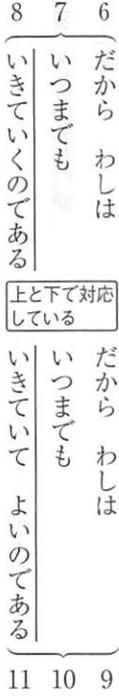
(1) 第一連、第二連とも、「おう ……ぜ」という呼びかけて始まり、「おれは ……ぜ」と続いていることに注目する。

(2) 「げんきだぜ」、「がんばるぜ」、「おれの ……かもまもどきどきするほど／ひかっているぜ」などの表現から、暑い夏を迎えて、「かまきり りゆうじ」の心身にエネルギーがみなぎっていることが読み取れる。その力強さ、元気が表れるように読む。

(3) 線①より前の「わしの しんぞうは／たくさんの／ことりたちである」に注目する。冬になり、けやきの大木は葉を落としているが、その枝に「たくさんの／ことりたち」がとまっていて「とても あたたかい」のである。

【記述ポイント】⑦：ことりたち ①：とまらせている、以上の内容を、「……様子。」という形でまとめる。【誤答例】ことりたちが枝にとまっている様子。(設問文の「けやきが何をしている様子」に合うように書かれていない。)

(4) 詩の6～8行目と9～11行目が同じような形式になっていることに注目する。



けやきはことりたちによってあたためられていると同時に、ことりたちがとまることができる枝を提供して、互いに支え合ったり役に立ったりしている関係であることが表されていると捉えることができる。あたためられているだけでなく、自分も役に立っていることに安心している気持ちを読み取る。

【記述ポイント】「喜びを感じる」などと答えてもよい。

2

花曇りの向う／季節のしおり 春／わかりやすく説明しよう

9～10 ページ

全体像の確認問題

- 1 小学校卒業(中学校入学)・三週間・川口君・バスケットボール  
 2 梅干しのお菓子  
 3 花曇り・気持ち

漢字の確認

- 1 ①くも ②しる ③やっかい ④おさ ⑤ぬ ⑥かし ⑦ようちえん  
 ⑧おれ ⑨ふ ⑩さ ⑪せんちや ⑫ぼくじゅう ⑬ざんしん  
 ⑭きばつ ⑮しんぶく ⑯かび ⑰さか(ちやか) ⑱がな  
 ⑲押 ⑳僕 ㉑窓 ㉒歓声 ㉓地域 ㉔欲 ㉕棚 ㉖殻 ㉗税込 ㉘困難  
 ㉙腹痛 ㉚千 ㉛降 ㉜探検(探険) ㉝指揮 ㉞策略 ㉟展覧 ㊱簡潔  
 2 ①A勸 B欽 ②A紹 B招 ③A揚 B陽

季節のしおり 春

- ①立春 ②啓蟄

わかりやすく説明しよう

- ①ことがら ②ふせん ③沈

11 ページ

必修問題(1)

- (1) イ  
 (2) A落ちた B例「僕」が友達を作るきっかけを失った(17字)  
 (3) 晴れることくをはいた。

# 基本問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

- ① タンポポは外国からやってきた外来の西洋タンポポと、昔から日本にある在来の日本タンポポに大別されます。西洋タンポポは、勢力を拡大しているのに対して、在来の日本タンポポはだんだんと数を減らしています。
- ② そうだとすると日本タンポポよりも、西洋タンポポの方が強いのでしょうか。
- ③ 両者の能力を比べてみることにしましょう。
- ④ 西洋タンポポは日本タンポポよりも、小さくて軽い種子を作ります。そのため、より遠くまで種子を飛ばすことができます。②として、種子が小さいということは、その分だけ、種子の数を多くすることができません。
- ⑤ また、日本タンポポは他種<sup>たしよ</sup>なので、ハチやアブなどが花粉を運んでこないと種子ができません。
- ⑥ それに対して、西洋タンポポは花粉がつかなくても種子を作ることができる特殊な能力<sup>とくしゆな能力</sup>を持っています。そのため、まわりに花がなく、昆虫がないような環境<sup>かんぎやう</sup>でも、種子を作ることができるのです。
- ⑦ それだけではありません。日本タンポポは春にしか咲きませんが、西洋タンポポは一年中、花を咲かせることができます。そのため、西洋タンポポは次から次へと花を咲かせて、次から次へと種子をバラまくことができるのです。
- ⑧ こうして見ると、どうも西洋タンポポの方が、日本タンポポよりも強そうです。
- ⑨ 、本当にそうでしょうか。
- ⑩ 日本のタンポポは、西洋タンポポよりも大きな種子をつけます。これは、遠くまで飛ばす上では不利ですが、大きな種子からは大きな芽生えが育ちます。これは、他の植物と競って伸びる上では大切です。⑦、他の花の花粉と交配することによって、バラエティに富んださまざまな子孫

20

15

10

5

(1) 接続語——線①「そうだとすると」・②「そして」の働きとして適切なものを次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 順接    イ 逆接    ウ 並列・累加  
 エ 対比・選択    オ 説明・補足    カ 転換
- ①     ②

(2) 接続語——線③「それに対して」について、次の各問いに答えなさい。

① 「それに対して」とは、どのようなことに対してですか。「……ことに対して。」に続くように、文章中の言葉を使って、三十五字以内で書きなさい。


ことに対して

2 「それに対して」の働きとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 順接    イ 累加    ウ 対比    エ 補足
- 

(3) 接続語——線④「次から次へと花を咲かせて、……ことができる」とありますが、それができるのは、西洋タンポポがどのような能力を持っているからですか。「……能力。」に続くように、文章中から十字以内で抜き出さなさい。


能力。

(4) 指示語・接続語——線⑤「こうして見ると、……強そうです。」とありますが、何段落から何段落までの内容を受けて「強そう」だと述べていますか。段落番号で答えなさい。

段落から  段落まで



要点

- ・ 接続語を当てはめる問題では、前後の内容から文のつながりを捉え、合う語を選ぶ。
- 内容A 内容B
- 例 美香さんは薄着をした。風邪を引いた。 AはBの原因・理由
- ↓ 順接の接続語が当てはまる
- ・ 「このように」「これに対して」「以上のことから」などは、指示語でもあり接続語でもある。
- それまでに述べた内容を踏まえて、後の部分につないでいる。
- 例 二週間前に風邪を引いて高熱を出したが、三日後には回復し、登校した。ところが、後れを取り戻そうとクラブ活動に力を入れすぎたのか、また熱を出してしまった。
- 以上のことから、風邪が完全には治っていないなかったのだと考えられる。
- ← 前の内容を踏まえている

- を残すことができます。これは、多様な環境に適應するのに有利です。
- 11 さらに、日本タンポポは春にしか咲きません。そして、きつさと咲き終わって種子を飛ばすと、根だけ残して自ら枯れてしまうのです。
- 12 夏になれば、他の植物は生い茂って、小さなタンポポには光が当たりません。⑧、他の植物との戦いを避けて、地面の下でやり過ごすのです。
- 13 つまり、日本タンポポは、自然豊かな環境で育つのに、とても戦略的なのです。
- 14 一方、西洋タンポポは、種子が小さく競争力は高くありません。また、一年中、花を咲かせようとするので、夏には他の植物に負けてしまいます。その代わりに他の植物が生えないような都会の道ばたで花を咲かせて、分布を広げているのです。
- 15 西洋タンポポが広がり、日本タンポポが少なくなっているということは、じつは、日本タンポポが生えるような日本の自然が減少し、都会の環境が増えているということなのです。
- 16 西洋タンポポと日本タンポポと、どちらが強いということはありませぬ。どちらも自分の得意な場所を生息地としています。
- ※一部省略等があります。 <稲垣栄洋「面白くて眠れなくなる植物学」より>
- (注) 他種は自分の花粉ではなく、他の花の花粉と交配することで種子を作るしくみ。

40

35

30

25

(5) 接続語 ⑥、⑧に当てはまる接続語を次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア あるいは イ しかし ウ そこで  
エ たとえば オ また カ なぜなら

⑥  ⑦  ⑧

(6) 接続語 — 線⑨「つまり、日本タンポポは、……とても戦略的なのです。」とありますが、この一文の働きとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア これまで述べてきた内容の理由を示している。  
イ これまで述べてきた内容の例を挙げている。  
ウ これまで述べてきた内容を否定している。  
エ これまで述べてきた内容をまとめている。

(7) 指示語・接続語 — 線⑩「他の植物が……花を咲かせて」とありますが、西洋タンポポが他の植物が生えないような場所で花を咲かせる理由がわかる、連続する二文を文章中から抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

(8) 文章の把握 この文章の内容に合うものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 西洋タンポポは、少量の小さな種子を遠くまで飛ばして子孫を残している。  
イ 日本タンポポは競争力が弱いので、春にしか咲くことができない。  
ウ 都会の環境が増えているために、日本タンポポの勢力が拡大している。  
エ 西洋タンポポも日本タンポポも、それぞれ能力に合う環境で生息している。

## 演習問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① 古来、ウメの花と木は、多くの人々に愛され、絵に描かれ、詩歌に詠まれ、私たちの身近に息づいてきた。早春に、白色や紅色の花を咲かせ、香りを漂わせ、どの花より一足先に春の訪れを感じさせてくれる植物である。その花に漂う気品のために、「この植物が好き」という人は多いが、「この植物は嫌い」という人に出会ったことがない。

② ウメは、サクラと並び、日本を代表する花木である。両方とも、バラ科サクラ属の植物なので、花のつくりはよく似ている。①、私たちは、自然のなかで、このどちらかを見て「ウメか、サクラか」と悩むことはめったにない。

③ 花の咲く時期がずれていることが一つの理由である。ウメは、本格的な春の暖かさが来る前の新春、あるいは、早春に花を咲かせるのに対し、サクラは春の暖かさを感じて花を咲かせる。だから、ウメの花が完全に咲き終わったあとに、サクラの花は咲くことになる。②、ウメには特有の香りがあることも一因である。

④ ③、時期がわからず香りがいい絵や写真で、枝に咲く二つの花を並べたら、「どちらがウメで、どちらがサクラだろう」と悩むだろうか。多くの人は、それでも悩むことはないだろう。④、ウメの花とサクラの花には、わかりやすい違いがあるからである。

⑤ ウメの花には、柄がほとんどない。だから、枝から離れずに直接に花が咲いているように見える。それに対し、サクラの花は長い柄を伸ばして咲く。サクラの花に長い柄があることは、サクランポになっても長い柄が残っていることからわかる。

⑥ また、ウメは一つのツボミから一つの花を咲かせるが、サクラはそうではない。サクラは花咲く前には一つに見える芽の中に数個のツボミが入っており、そこから分かれ出るように柄が伸びて花が咲く。だから、サクラの花の個数は

ウメの花の個数よりずっと多い。そのため、サクラが満開になると、華やかさはウメよりずっとまざる。

⑦ ウメは、華やかさでサクラと競う気はないだろう。その静かなたたずまいのなかに漂う気品と香りを誇る花木である。その姿ゆえに、古くから、私たちは日本人に愛されてきたのだ。「万葉集」において、詠まれている歌の数は、数える人により少しずつ異なるが、サクラを詠んだ歌が約四〇首であるのに対し、ウメを詠んだものは約一八首である。

⑧ ウメの花の絵は、描きやすい。「ウメの花を描いて下さい」といわれれば、多くの人は、そんなに躊躇することなく、五枚の丸いまたは楕円形の花びらを輪のように並べて描く。花びらが五枚であることはよく知られているのだ。

⑨ その中央にメシベが一本、そのまわりにオシベが五本ほど描き込まれる。ほんとうは、ウメのオシベの本数はもっと多く、二〇本以上あるのがふつうだが、五本が描き込まれるだけで十分にウメの花らしく見える。

⑩ このように、ウメの花はわかりやすい形をしており、デザイン化するのがきわめて容易である。また、多くの人に愛されてきたという歴史がある。これらが重なって、神紋、家紋として多く使われている。

〈田中修「都会の花と木」より〉

※一部省略等があります。

(注) たたずまい 雰囲気。

万葉集 奈良時代末期に成立した、現存する日本最古の和歌集。

躊躇 ためらうこと。

神紋、家紋 神社や家を表すしるしとして代々受け継がれている図案。福岡の太

宰府天満宮の神紋は梅。

(1) 接続語  ① ~ ④ に当てはまる接続語を次からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし、記号は一度しか使えません。)

- ア では イ しかし  
ウ また エ なぜなら

①  ②  ③  ④

(2) 接続語 —— 線⑤ 「ウメの花とサクラの花には、わかりやすい違いがある」について、次の各問いに答えなさい。

1 二つの花の違いについて述べた  5 段落の内容を、次のようにまとめました。 a・b に当てはまる言葉を、a は八字、b は六字で文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

・ウメの花には  a が、サクラの花には  b。

b  a

2 二つの花の違いについて、付け加える形で述べている一文を、文章の中から抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

(3) 接続語 —— 線⑥ 「サクラが満開になると、……ウメよりずっとまさる」とありますが、それはなぜですか。文章中の言葉を使って、三十字以内で書きなさい。


(4) 指示語・接続語 —— 線⑦ 「このように」が指しているのは何段落から何段落までですか。段落番号で答えなさい。

段落から  段落まで

(5) 指示語・接続語 —— 線⑧ 「神紋、家紋として多く使われている」とありますが、ウメの花がそのように使われているのはなぜですか。「……花であるとともに、……花であるから。」という形で、四十字程度で書きなさい。


(6) 文章の把握 この文章の内容に合うものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
ア 香りも気品もあるサクラとウメは、どちらも古くから多くの人に愛されている。  
イ サクラもウメもバラ科サクラ属に分類される植物で、花のつくりが似ている。どちらか区別がつかないことがある。  
ウ ウメは華やかさでサクラにおとるが、『万葉集』で詠まれた歌の数ではまさっている。  
エ ウメの花の絵を描くときに、オシベの正確な数を知らなくてもサクラと区別できるような描き方をすることができる。

接続語の働きを理解する→文脈がわかる

☆接続語は、接続語の前後の関係を明らかにするとともに、文章全体の筋道をわかりやすくするために使われる言葉です。接続語を意識して、「前の内容と後の内容はどんな関係につながっているだろうか」と常に考えながら読むと、文脈が捉えやすくなります。



えながらやるからだ。しかし、上司がガミガミ言わなくても、何年かすれば「考える」というプロセスを省けるようになる。

行動を習慣化するために必要なことは、その行動をたっぷりやることと、毎日欠かさずにやることだ。たとえ少しくらい勉強のやり方を間違えていようが、とにかく毎日やっていけば、必ず「自分なりの習慣」ができてくる。そうなればしめたものだ。

アメリカの心理学者ウィリアム・ジェームズ博士は、「人間は、習慣の動物である」という名言を残しているが、いったん勉強するという習慣ができてしまえば、ちょうど歯磨きをしないままに眠るのが気持ち悪く感じるように、「勉強していないと、なんだか落ち着かない」というところまで、自分を持っていくことができるのだ。

※一部変更があります。

(注) 即座に「すぐに」。

プロセス＝手順や段取り。

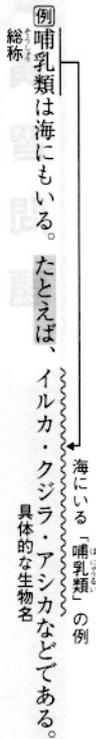
〔内藤 謙人〕「心理学者が教える『超』勉強術」より

要点

理由を表す表現には、「から」「ので」「ため」や、順接や説明・補足の接続語を使うもの以外にも、次のような表現がある。

例 「その理由は……だ。」「……ことが理由である。」

「たとえば……」などと具体例を述べている部分も、言い換えの一つである。前の部分で述べたことを、後でわかりやすく具体例に置き換えて説明すること、前て述べた内容に説得力をもたせている。



(4) 言い換え——線④「本を読むことが習慣化されていた」とありますが、これは、筆者のどのような経験を言い換えたものですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア お酒を飲んで酔っ払ったり、朝帰りをしたりしてから本を読んだこと。
- イ 余計なことを考えずに、机に向かって勉強したこと。
- ウ 一日一冊本を読むというルールを決め、帰宅後に必ず本を読んだこと。
- エ 頭の中に内容が入らない状況でも、とにかく勉強したこと。

(5) 理由——線⑤「新入社員は何をやっても遅い」のはなぜだと説明されていますか。文章中から三十字以内で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

- (6) 内容理解 筆者が挙げている、行動の習慣化のために必要なことを、次から二つ選び、記号で答えなさい。
- ア 習慣化したい行動に少しずつ取り組むこと。
- イ 習慣化したい行動について毎日考えること。
- ウ 習慣化したい行動を何度も繰り返すこと。
- エ 習慣化したい行動を日課として行うこと。
- オ 習慣化したい行動を間違えずにやること。

(7) 文章の把握 行動が「習慣化」できた場合、心理的にどのような状態になると筆者は考えていますか。「行動」「習慣化」という言葉を使って、二十文字程度で書きなさい。

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

## 演習問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

- ① 努力をしない人には、みつつのタイプがいます。
- ② ひとつ目はこれ以上努力をする必要がない（またはそう思っている）人。本当に「努力する必要がある人」というのは、これ以上その才能を高める余地がない完成形の「天才」です。ですが、本当の「天才」なんて、めったにいないのです。
- ③ ふたつ目は、努力する必要がないと**①**思っている人。たとえば、ある分野で、一定の評価を残し、それに見合う地位・名譽、お金などを享受できているか、または、自分の人生を半ば諦めてしまったりして、これ以上前に進む必要はないと**②**思っている方々**③**がいます。
- ④ しかし多くの人は、そのどちらでもなく、もうひとつのタイプに分類されるのだと思います。もうひとつのタイプ、それは、そもそも努力をすることが苦手な人です。頭のなかでは、努力したほうが良いとわかっている、具体的にどうしたらいいのかわからない、その結果、なかなか思うように努力することができないのです。
- ⑤ 努力をするというのは、ある目的のために力を尽くすことを指します。
- ⑥ こう書いてしまうと、すごく抽象的な感じがしませんか。だから、「努力目標」というのは、なんとなく「絵に描いた餅」的な、果たさなくてもいい目標④のようになってしまう、「努力義務」というのは、頑張ったと言いきえすれば許される義務のような気がしてきます。ここに重大な誤解があると私は思っています。
- ⑦ まずは、「努力すること」を具体的にとらえることが大事。「努力すること」〇〇をすること〇〇と具体化することが一番重要なポイントです。努力することが苦手だと思っている人の中には、「努力しろ」とか「もっと頑張れ」とか言われて、具体的に何をどうしたらいいのかわからないまま、ただ、今の自分

を否定されたように感じて、「努力」という言葉に苦手意識を持たれた方も多いのではないのでしょうか。

- ⑧ だから、「努力すること」を抽象的な目的ではなく、具体的な目的にすることをまずポイントとして検討し、その後にそれを実行して継続することを考えたいと思います。
- ⑨ まず、「努力すること」とは何かについてです。私にとってあることのために努力することは、その何かを「反復・継続」することを指します。
- ⑩ これは要するにアスリートのトレーニングと同じです。たとえば、陸上競技の選手は、基本的には一日何回か走って、それを毎日続けると思っています。私が努力したのは、主に勉強だったので、試験の前には教科書を何回も読んで、それを毎日続けました。だから、まず、なんのために「努力するか」、つまり、何を反復・継続するかを見つけて出すことが大事です。
- ⑪ 次に、どうやって、反復・継続するかについて考えます。「私はそういうのが苦手だから」と思われる方も多いと思いますが、そんなことはないはずです。日々の生活を振り返ってみてください。ほとんどの人が、反復・継続の繰り返しによって毎日が成り立っています。
- ⑫ 毎朝、定時にセットしたアラームに叩き起こされ、決まったチャンネルで天気予報と今日の占いをチェックし、同じ通勤・通学路を歩き、定時に勤務先や学校に到着する……。私を含む世の中の多くの人が、こういった同じ行動の繰り返しで構成された毎日を送っているのです。
- ⑬ ですから、「反復・継続することができない……」ということは、ないのではないかと思えます。
- ⑭ 重要なことは、まず、何を反復・継続するかを見つけ出すこと。それさえ見つかれば、あとはちよつとした工夫でそれを続けることができるはずですよ。
- 〈山口真由「天才とは努力を続けられる人のことであり、それには方法論がある。」より  
扶桑社刊〉
- ※一部省略等があります。
- (注) 享受＝十分に楽しむこと。絵に描いた餅＝実際の役に立たない計画のたとえ。

(1) 言い換え——線①「たとえば、……方々がいます。」とありますが、この

一文の働きとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 直前で述べた内容を具体例に置き換えて説明する働き。
- イ 直前で述べた事柄と対立する事柄を述べる働き。
- ウ 直前で述べた意見の根拠を述べる働き。
- エ 直前で述べた内容を要約する働き。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

(2) 言い換え——線②「多くの人は、……分類される」について、次の各問いに答えなさい。

1 「そのどちらでもなく」の「そのどちら」が指している内容を含む段落を全て抜き出し、段落番号で答えなさい。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

段落

2 「もうひとつのタイプ」とは、どのような人ですか。文章中から十六字で抜き出しなさい。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

(3) 理由「努力目標」を——線③「果たさなくてもいい目標」、「努力義務」を

線④「頑張ったと言いきえすれば許される義務」と感じてしまう理由を、筆者はどのように考えていますか。次の文の□(a)・(b)に当てはまる言葉を、(a)は七字、(b)は三字で文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

- ・「努力」をするということ、□(a)である、□(b)な捉え方をしてしまうから。

|     |     |
|-----|-----|
| (a) | (b) |
|     |     |

(4) 言い換え [7] 10段落について、次の各問いに答えなさい。

① ある一文を、少し言葉を変えて次の一文で言い換えているところがあります。その連続した二文を抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

2 筆者が伝えたい内容を述べた段落と、その内容を、例を挙げて言い換えて説明している段落があります。その連続した二段落を、段落番号で答えなさい。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

段落

⑤ 理由——線⑤「『反復・継続することができない……』』ということとは、なのではないか」とありますが、筆者がどのように考えるのはなぜですか。文章中の言葉を使って、三十五字以内で書きなさい。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

(6) 文章の把握 筆者が最も伝えたいことをまとめた次の文の□に当てはまる言葉を、文章中の言葉を使って十五字以内で書きなさい。

- ・努力するために最も必要なことは、□ことである。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

理由・言い換え表現を捉える→筆者の言いたいことをより理解できる

☆筆者が理由を述べたり言い換えたりするのは、言いたいことを、読み手により理解しやすいようにと、伝わりやすい工夫をしようとしているためです。理由や言い換え表現を捉えることは、筆者の考えを正確に理解することにつながります。



について述べていることを捉える。よって、「それ」が指している内容は直前の一文であり、「それに対して」という接続語はさんで、日本タンポポと西洋タンポポの種子を作る能力を対比させて述べられていることを押さえる。

**記述ポイント** 「……ことに対して。」に続くように、また、「それ」に当てはめたときに文意が通るように、直前の一文の文末を変えてまとめる。文末を変えただけでは字数が超過するため、「ハチやアブなどが」を「虫が」と言い換えるか、削つても文意に影響のない「他種なので」を削除して答えをまとめる。

(3) 線④を含む一文をまず確認する。冒頭に「前の事柄が後の事柄の原因・理由となる働きをもつ順接の接続語「そのため」があることに注目する。直前の「一年中、花を咲かせる」ことができること（＝能力）が、次々と花を咲かせ種子をバラまくことができる理由であることを読み取る。

(4) 「こうして」は、指示語でもあり接続語でもある語なので、線⑤より前の部分を確認する。(1)①で考えたように、②段落で「日本タンポポよりも、西洋タンポポの方が強いのでしょうか」と疑問を提示した後、③段落で「両者の能力を比べてみることにしましょう。」と述べている。そして、④段落以降で西洋タンポポと日本タンポポのさまざまな能力が比較されている。(1)②・③で捉えた④～⑦段落の内容を、「こうして見ると」と受けて、西洋タンポポの方が強そうだと述べていることを押さえる。

(5) 線⑥：「西洋タンポポの方が……強そう」(⑧段落)という直前の内容に対して「本当にそうでしょうか」(⑨段落)と疑問を投げかけ、前とは食いついて内容を述べようとしている。↓逆接の接続語「しかし」を選ぶ。

(7) の前：大きな種子・大きな芽生え↓他の植物と競う上で大切  
+ 前の内容に並べる・付け加える↓並列・累加の接続語「また」

(7) の後：他の花粉との交配でさまざまな子孫を残せる  
↓多様な環境適応に有利

(8) の前：他の植物が生い茂って、小さなタンポポには光が当たらない  
← 原因・理由 ↓ 順接の接続語「そこで」

(8) の後：他の植物との戦いを避けて、地面の下でやり過ごす結果

(6) 線⑨に「つまり」があることに注目。「つまり」の後の、「日本タンポポは、自然豊かな環境で育つのに、とても戦略的なのです」が、「つまり」の前とどのような関係かを考える。(5)で考えたように、⑨で疑問を投げかけた後に、⑩段落以降で日本タンポポの特徴について「他の植物と競って伸びる上では大切」「多様な環境に適応するのに有利」「他の植物との戦いを避けて、地面の下でやり過ごす」などと説明している。これらを線⑨で「自然豊かな環境で育つのに、とても戦略的」とまとめていることを捉え、工を選ぶ。

(7) 線⑩を含む一文の冒頭に「その代わりに」と指示語がある。何の代わりなのかを考えると、線⑩より前を確認する。直前の一文が並列・累加の接続語「また」で始まっていることから、「夏には他の植物に負けてしまふこと」と、さらに一文前の「種子が小さく競争力は高く」ないことの二点が指示内容であり、線⑩の理由であることを読み取る。

(8) ア：④段落に種子の数が多いという内容があるため合わない。イ：⑬段落で小さなタンポポには夏は光が当たらないから春にしか咲かず、戦略的だと述べているため合わない。ウ：×日本タンポポ ○西洋タンポポ (⑮段落) エ：最後の⑯段落に「どちらも自分の得意な場所を生息地にしています。」とあるため、合っている。

◆ 演習問題 ◆

- 20～21ページ
- (1) ①Ⅱイ ②Ⅱウ ③Ⅱア ④Ⅱエ
  - (2) 1 a 柄がほとんどない b 長い柄がある  
2 また、ウメくではない。
  - (3) 例 サクラの花の個数はウメの花の個数よりずっと多いから。(26字)
  - (4) ⑧ (段落から) ⑨ (段落まで)
  - (5) 例 デザイン化が容易な形の花であるとともに、多くの人に愛された歴史をもつ花であるから。(41字)
- 別解 ウメの花はデザイン化しやすい形の花であるとともに、古くから愛

(6) ウ されてきた花であるから。(42字)

解説

(1) ①：前の「花のつくりはよく似ている」とこと、後の「どちらかを見て『ウメか、サクラか』と悩むことはめったにない」とことは食い違っている内容。↓逆接の接続語「しかし」。②：「ウメには特有の香りがあることも一因(＝一つの原因・理由)」とあることから、②の前の理由があるかと推測できる。③の前の理由を見ると、③段落の最初に「花の咲く時期がずれていることが一つの理由」とあり、これにもう一点原因・理由を付け加えていることがわかる。↓並列・累加の接続語「また」。

③：前の部分で述べているのは、自然のなかでウメとサクラを見分けられる理由。そこから、絵や写真でウメとサクラを見分けられるかどうかへと話題が転換している。↓転換の接続語「では」。④：前の「多くの人は、それでも悩むことはない」理由を、後で「わかりやすい違いがあるから」と述べている。↓説明・補足の接続語「なぜなら」。

(2) 1 ⑤段落の内容を確認する。

ウメの花：柄がほとんどない  
サクラの花：長い柄がある  
↑「それに対し」を使って、違いを対比的に述べている

2 1で押さえた違いを⑤段落で述べた直後で「また、ウメは……、サクラはそうではない」と、「また」を使い、違いを付け加えている。

(3) ⑥を含む一文に着目する。冒頭に「そのため」という順接の接続語があるため、直前の「サクラの花の個数はウメの花の個数よりずっと多い」ことが、サクラの華やかさがウメよりまさる理由であるとわかる。

(4) ⑦「このように」は、指示語でもある接続語で、前で述べた内容をまとめて次につなぐ働きがある。ここでは、直後で「ウメの花はわかりやすい形をしており、デザイン化するのがきわめて容易」とまとめていることから、「このように」は、ウメの花の絵の描きやすさについて説明した⑧⑨

段落を指していると読み取れる。……花であるから。」とあるため、理由は二点あると推測できる。そのうえで——線⑧を含む一文に着目する。

このように、ウメの花はわかりやすい形をしており、デザイン化するのがきわめて容易である。また、多くの人に愛されてきたという歴史がある。これらが重なって、神紋、家紋として多く使われている。

「これらが重なって、……多く使われている。」とあるので、複数のものを指す指示語「これら」の指示内容が、神紋、家紋として多く使われる理由であることがわかる。前を確認すると、「また」という並列・累加の接続語をはさんで、「デザイン化するのがきわめて容易」な形だということと、「多くの人に愛されてきた」ことの、二つの理由が挙げられている。

⑥ 各選択肢を確認して、文章と照らし合わせる。ア：「香り」や「気品」について述べられているのは①・③・⑦段落だが、いずれもウメの花についてであり、サクラではない。したがって、アは合わない。イ：「ウメは、サクラと並び、日本を代表する花木である。両方とも、バラ科サクラ属の植物なので、……」(6～7行目)とあるが、「花のつくりが似ているどちらか区別がつかない」とは逆の内容が述べられているため、イは合わない。ウ：③の「線⑥で捉えたように華やかさではサクラがまさるが、⑦段落の『万葉集』について述べたところに『サクラを詠んだ歌が約四〇首であるのに対し、ウメを詠んだものは約一八首である』とあるため、ウメのほうが歌の数でまさっており、ウは合っている。エ：④で確認したように、⑧・⑨段落でウメの描きやすさについて述べられているが、「サクラと区別できるような描き方」については何も述べられていないことから、エは合わない。

「線⑦「このように」は、指示語でもある接続語で、前で述べた内容をまとめて次につなぐ働きがある。ここでは、直後で「ウメの花はわかりやすい形をしており、デザイン化するのがきわめて容易」とまとめていることから、「このように」は、ウメの花の絵の描きやすさについて説明した⑧⑨

### 3 説明的文章(3) 理由・言い換え

#### ◆ 確認問題 ◆

22～23 ページ

- (1) ㉞ そっこう ㉟ 移(せる) ㊱ 冊 ㊲ はぶ(ける)
- (2) 判|| 例判定・判明・批判・評判 断|| 例断定・断念・中断・決断
- (3) 工 (4) 形(式) (5) 例 一言一句・言語道断 (6) ㊳
- (7) 本を読むこゝでされていた(から) (15字) (8) 習慣化

#### 解説

(6) 修飾語は、修飾する言葉の直前に移動して確認する。㉞…勉強するといったんいう↓×/㉟…勉強するといったん習慣が↓×/㊱…勉強するといったん習慣がいったんできてしまえば↓○

- (7) 線を含む一文を確認すると、直前に「……ので、」という理由を表す表現があることがわかる。「のて」の前の「本を読むことが習慣化されていた」が、「余計なことを……机に向かうことができた」理由である。
- (8) 文章中で繰り返し使われている言葉を確認する。「行動を習慣化してしまふ」という方法「行動を習慣化するために必要なことは……」から捉える。

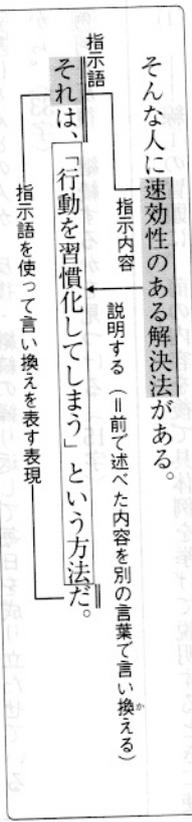
#### ◆ 基本問題 ◆

24～25 ページ

- (1) 1 取りかかるくってしまふ (18字)
- 2 「行動を習慣化してしまふ」という方法 (18字)
- (2) 習慣化したくズにできる (こと)の例。(27字)
- (3) ㉞ 「やろうか、やるまいか」 ㉟ 二者択一にくを選択する (22字)
- (4) ウ (5) 頭の中に段くらやるから (29字)
- (6) ウ・エ (順不同)
- (7) 例 習慣化した行動をとらないと落ち着かない状態。(22字)

#### 解説

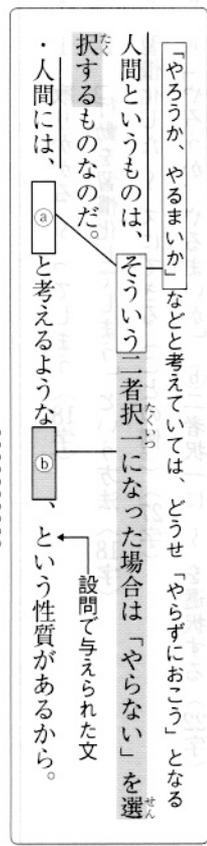
- (1) 1 指示語を含む一文や前後の内容を確認する。指示語の内容である「どんな人に速効性のある解決法なのか」と考え、線①より前を確認する。直前の二文では、「やらなければいけないことがあるのに、いろいろ考えて取りかかるまでに時間がかかる」という事例を挙げており、それを「そんな」という指示語で受けていることをつかむ。前の二文から、設問で与えられた文の□に当てはまるように抜き出す。指示内容を答える設問では、必ず最後に解答を指示語に当てはめ、意味が通ることを確認する。
- 2 まず、線①の前後の部分を確認する。



- 直後に「それは、……という方法だ。」という表現があることに着目し、「それ」の指示内容は、直前の一文の「速効性のある解決法」であることをつかむ。「それは、……だ。」という表現は、前に述べた内容を別の言葉で言い換えるときの定型表現。ここでは「速効性のある解決法」を、後の部分で「行動を習慣化してしまふ」という方法」と別の言葉で言い換えて説明していることを捉える。

- (2) 線②のように「たとえば」を使って例を挙げる場合、前の部分で述べたことを後で具体例に置き換えて説明するという形が多い。まずは前の部分から、何の例かを考える。線②では、「歩く」という行動について、「歩くときに……考える人はいない」「日常的にやっていることだから、……即座に行動に移せる」という具体例を述べている。これは、線②の直前にある「習慣化した行動は、頭で何も考えなくてもスムーズにできるようなっている」の部分に対応している。したがって、線②は「習慣化した行動は、……スムーズにできる」ことの例である。
- (3) 線③の直前に、前の内容が後の内容の理由であることを示す順接の接

続語「したがって」がある。——線③の直前の一文では「人間というものは……ものなのだ。」と人間の性質について述べ、この一文を理由として——線③を述べていることを捉える。理由の中に、指示語「そういう」があるため、まず指示内容を確認してから、設問で与えられた文と合わせて考える。



- (4) 設問文で、——線④は筆者の経験を言い換えたものだと言われているため、線④より前を確認して、何を言い換えたのかを捉える。直前に「帰宅したら必ず本を読んだ」とあり、それを言い換えたのが——線④の「本を読むことが習慣化されていた」であることを確認する。ア：「……してから」が誤り。イ・エ：前——元の表現→後——言い換えの表現の順になるため、言い換えの表現よりさらに後の内容のものは誤り。
- (5) ——線⑤の直後で——線⑤と似た内容が繰り返され、その後で「なぜなら……からだ。」という理由を表す表現があることに着目する。「……から」という理由を表す部分まで抜き出すように注意する。
- (6) (1)～(5)で捉えた部分には、行動の習慣化のために必要なこととして筆者が挙げたことは書かれていない。最後から二つ目の段落の最初に「行動を習慣化するために必要なこと」として「その行動をたつぷりやること」「毎日欠かさずにやること」とある。以上の二点と内容が一致するウとエを選ぶ。
- (7) 設問文にある、「行動が『習慣化』てきた場合、心理的にどのような状態になる」かについて述べられている部分を探す。(1)～(6)で捉えた部分には、「頭で何も考えなくてもスムーズにできるようになっていく」(5～6行目)、「余計なことを考えることなく机に向かうことができた」(17～18行目)、新入社員が「考える」というプロセスを省けるようになる(26行目)とあるが、心理的にどのような状態になるかの説明ではない。最後の段落に「いっ

たん勉強するという習慣ができてしまえば」という前提で、「勉強していないと、なんだか落ち着かない」というところにまで、自分を持っていくことができる」と、行動を習慣化したときに心理的にどのような状態になるかが説明されていることを捉える。

【記述ポイント】⑦：「習慣化された行動」①：「落ち着かない状態」、以上を、⑦をしないと①、②という書き方でまとめる。文末は「……状態。」と結ぶ。

### ◆演習問題◆

26～27ページ

- (1) ア (2) 1 [2]・[3] (段落) (順不同)
- (2) 2 そもそも努力をすることが苦手な人
- (3) ①力を尽くすこと ②抽象的
- (4) 1 まずは、「5」です。 2 [9]～[10] (段落)
- (5) 例多くの人が、同じ行動の繰り返しで構成された毎日を送っているから。(32字)
- (6) 例何を反復・継続するかを見つける(15字)

### 解説

- (1) ——線①の冒頭に、前の内容を後で具体例を挙げて説明するときを使う接続語「たとえば」がある。——線①は何かの具体例として「ある分野で……享受できている」人や「自分の人生を……思っている」人を挙げている。「たとえば」の前には、「ふたつ目は、努力する必要があると思っている人」とある。したがって、——線①は「努力する必要があると思っている人」とはどのような人か、具体例に置き換えて説明する役割を果たしている。
- (2) 1 ——線②を含む一文が「しかし多くの人は、そのどちらでもなく、もうひとつのタイプに分類されるのだと思います。」であることから、「そのどちら」という、前に取り上げた二つのものを表す指示語が指しているのは、

「もうひとつのタイプ」とは別の、二つのタイプであることを捉える。——線②の前を確認すると、(1)で捉えたように——線①の直前の③段落の最初に「ふたつ目は、努力する……人。」とある。さらに前の段落の最初には「ひとつ目はこれ以上……人。」とある。さらに前の①段落(文章の最初)が「努力をしない人には、みつつのタイプがいます。」であることから、「そのどちらかは②・③段落で説明されている「ひとつ目」「ふたつ目」の「……人」であることを捉える。

2 ——線②の直後に「もうひとつのタイプ、それは、……です。」と言い換えの表現があることに着目し、「もうひとつのタイプ」とは「そもそも努力をすることが苦手な人」であることを捉える。

(3) ——線③・④を含む一文を確認する。冒頭に「だから」という、前て理由、後て結果を述べる順接の接続語があるため、「だから」より前に理由が書かれていることを捉える。直前の一文に「こう書いてしまうと、すごく抽象的な感じがしませんか。」とあるので、「こう」という指示語の指示内容について、さらに前を確認する。⑤段落では、「努力をするというのは、ある目的のために力を尽くすことを指します。」という一文を受けて「こう書いてしまうと……」と続けている。ここから筆者は「努力する」ということを、「ある目的のために力を尽くすこと」だと書くと、「すごく抽象的な感じ」がする」と述べ、それが理由となつて——線③・④のように感じてしまうという文脈であることを捉える。設問で与えられている文を確認して抜き出す。

(4) ⑦⑩段落で述べられている内容を確認していく。

1 ⑦段落では、冒頭に「努力すること……」を具体的にとらえることが大事。次の一文で「まずは、『努力すること……』と具体化することが一番重要なポイントです。」と連続する二文で少し言葉を変えて言い換えている。

2 段落単位で確認していく。①で捉えた⑦の前半に続けて、後半では「努力」という言葉に苦手意識を……多いのではないのでしょうか。」と投げかけたりして、⑧では「だから」という言葉を使って、⑦の前半部分をもう一度繰り返している。⑨では「私(＝筆者)」にとって努力することについて「何かを『反復・継続』すること」を指すと述べ、⑩で「これは要するに

(5) アスリートのトレーニングと同じです。たとえば、陸上競技の……毎日続けると思います。私が努力したのは……毎日続けました。」と、前の⑨の内容を、例を挙げて言い換えて説明している。以上から、⑨⑩を答える。——線⑤を含む一文の冒頭に、前に原因・理由、後に結果を述べるときに使う順接の接続語「ですから」があることから、前を確認する。

反復・継続で成り立つ毎日の例

毎朝、……学校に到着する……私を含む世の中の多くの人が、こういった同じ行動の繰り返しで構成された毎日を送っているのです。

順接の接続語 ← 「ですから」の前の内容を理由とした意見

ですから、「反復・継続することができない……」ということは、ないのではないかと思います。

反復・継続できないということはない(＝反復・継続できる)と筆者が考へる理由は、直前の一文の「私を含む世の中の多くの人が、……同じ行動の繰り返しで構成された毎日を送っている」ことである。記述ポイント「多くの人が同じ行動の繰り返しで構成された毎日を送っている」という内容をまとめめる。ほぼ同じ内容を述べている⑪段落の39～40行目の一文を使ってまとめられることもできる。いずれの場合も、文末は理由を表す「……から」などで結ぶ。

(6) (4)で捉えたように、⑦で筆者は「努力すること」を具体的にとらえることが重要だと繰り返し、⑨で「努力すること」とは、何かを「反復・継続」することだと述べている。⑩で例を挙げた後も、「まず、なんのために『努力するか』、つまり、何を反復・継続するかを見つけ出すことが大事です。」と述べている。また、(5)で捉えたように、⑪⑬で「反復・継続すること」が「できない」ということはない、と述べている。最後の⑭段落では、再び「重要なことは、まず、何を反復・継続するかを見つけ出すこと。」と述べ、「それさえ見つかれば、……」とまとめていく。以上から、筆者が繰り返し述べた言い換えたりしている、「何を反復・継続するかを見つけ出す」ことが、筆者が努力するために最も必要なことだと伝えようとしていることを捉える。

記述ポイント 「を」を削るか、「見つけ出す」を見つめる「など」と言い換える。